

## 成田市教育委員会会議定例会会議録【会議概要】

平成23年6月成田市教育委員会会議：定例会

期日 平成23年6月28日(火) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時55分

会場 成田市役所5階503会議室

### 出席委員

委員長	小川信子	委員長職務代理者	秋山皓一
委員	山口恵子	委員	小川新太郎
教育長	佐藤玉江		

### 出席職員

教育長	佐藤玉江(再掲)	教育総務部長	関川義雄
生涯学習部長	吉田昭二	教育総務課長	坂本公男
学校施設課長	葛生行広	学務課長	高山勇
教育指導課長	五十嵐正憲	学校給食センター所長	藤崎吉宣
生涯学習課長	藤崎祐司	生涯スポーツ課長	檜垣好克
公民館長	須藤清子	図書館長	大木禎夫
生涯学習課主幹	堀越美好	教育総務課主幹(書記)	秋山雅和

傍聴人：0人

### 【会議概要】

#### 1. 委員長開会宣言

#### 2. 教育長報告

##### ① 主催事業

- 6月1日 久住パークゴルフ場開場式について

小川委員長とともに出席した。久住中学校跡地に18ホールでオープンした。市長、議長、NAA役員、区長会長、空港対策協議会会長等によるテープカットが行われた。試打もしていただいたが、広くて美しい良く出来たパークゴルフ場である。若干使用料が高いが、18ホールあり公式戦も出来る施設、設備が充実しているのでこのような設定となっている。機会があれば利用していただきたい。

- 6月1日 校長会議について

5月16日から所長訪問、次長訪問、管理主事訪問等が始まっていたので、それらに同行した際に感じたことなどを述べ、それぞれの学校に戻って先生方に伝えて欲しいと話した。

- ・ 6月2日 国際こども絵画交流展2011実行委員会について  
 昨年は“交流”とはならず絵画展という形であったが、今年は改めて「交流展」という形で開催することとし、実行委員会を組織して第一回の話し合いを行った。また、これまでは自由テーマであったが、今後はテーマを設けて行うこととなった。今年のテーマを「花」とし、11月に展示会、表彰式等があるのでよろしくお願ひしたい。
- ・ 6月20日 北総教育事務所指導室訪問について  
 今年度初めての指導室訪問があった。中台中学校を訪問したが、総じて落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていた。例えば3年間を通じて私はこのような形でやってきたと話される先生がいて、生徒たちからも活発な意見がだされる授業が展開されていて、とても印象的であった。生徒も積極的に授業に参加しているという印象を受けた。
- ・ 6月23日・28日 平成24年度使用教科用図書の選定に係る勉強会について  
 23日と28日午前中の2回にわたり勉強会を行った。来年度に使用する中学校の教科用図書について、印旛採択地区としての採択に向けて、本市としての意見をまとめるために勉強会を行ったもの。7月8日の採択会議に本市としての意見を提案することとなる。

## ② 市議会

- ・ 6月10日～30日 平成23年6月成田市議会定例会について  
 教育委員会に関連する一般質問については答弁書の資料を参照していただきたい。  
 今回は3月11日の震災を受けて、市としての対応・対策を問うものが多かった。また、その後起こった放射能の影響に関する質問も多く、教育委員会についても放射能への対応や考え方を問うものが多かった。
- ・ 6月21日 教育民生常任委員会  
 議案4件はすべて教育委員会のものだった。請願や教科書に関する陳情等もあり教育委員会に関するものが主要な議題となった。
- ・ 6月24日 総務常任委員会  
 補正予算が関連するというので出席した。震災に伴う学校施設等の改修に伴う予算や中台球技場の照明設備の整備予算を減額する補正を提案し、可決いただいた。

## ③ その他

- ・ 6月4日 美郷台小学校運動会について  
 中郷小学校と統合して初めての運動会ということで、教育総務部長ともども参観をした。昨年も一昨年も中郷小学校の運動会を参観したが、競技も少なく一人何役もやらなければならないとか、競技に出てしまうと応援する人がいなくなってしまうなどの状況があった。しかし、今回は大勢の友達とともにそれぞれが元気にやっている姿を見て、多くの中で育つことの大切さを改めて感じた。
- ・ 6月4日 豊住地区ふれあいフェスティバルについて  
 毎年、敬老行事のような形で行われているが、その前に交流事業ということで子どもたちの発表会が行われている。美郷台小学校の運動会の後、早めに行って子どもたちの

発表を見させていただいた。地域で子どもを育てるという意識が定着しており、子ども同士の、あるいは高齢者との上手な交流が出来ていて、福祉面で考えるとお手本のような地域ということが出来ると思う。

- 6月5日 第2回わんぱく相撲成田場所について  
青年会議所が主催しているもので、昨年に引き続き2回目の開催。この後、県大会、そして最終的には国技館での全国大会がある。昨年は参加資格が4年生以上ということで参加者が少なかったが、今年からは1年生からの参加となった。男子だけでなく女子も出場するという事で人気のある「成田場所」であった。
- 6月7日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会平成23年度第1回幹事会について  
7月4日の総会に向けての会議。浦安市が事務局を務めているので、浦安市で開催された幹事会に出席した。
- 6月9日 平成23年度 歯の衛生週間 審査会・表彰式について  
印旛郡市歯科医師会、印旛保健所、北総教育事務所の主催で、親と子の良い歯のコンクール、高齢者の良い歯、啓発作文や絵の表彰などが行われた。良い歯の学校としては津富浦小学校が表彰され、絵の部門では平成小学校の児童が、川柳の部門でも吾妻小学校の児童が第2位に選ばれていた。
- 6月13日 平成23年度の1次隊JICAボランティア派遣前表敬訪問について  
本来であれば市長への表敬訪問となるが、議会前で日程の調整がつかないとのことで、代理として生涯学習部長、生涯学習課長等とともに表敬訪問を受けた。前林小学校の5年生担任の小松健一さんがフィジーのランバサ教育事務所への派遣となる。1年9ヶ月、平成25年3月までの派遣で、この間日本へ戻ることはほとんど出来ないと言うことなので、健康に留意し頑張ってきて欲しいと思っている。
- 6月19日 成田市PTAバレーボール大会について  
毎年活発に行われている大会で、今年は平成小学校が優勝し、公津の杜小学校が準優勝、成田小学校と下総地区の小中学校合同チームが3位だった。7月2日に郡大会が中台体育館で行われる。

#### 《教育長報告に対する主な質疑》

委員：6月21日の市議会教育民生常任委員会の議題は、どのようなものか。

佐藤教育長：本日の配布資料に6月定例市議会の概要があるので、参照願いたい。

議案第8号 成田市立久住小学校校舎大規模改造・増築工事（建設工事）請負契約の締結について、議案第9号 成田市立公津の杜小学校校舎増築工事（建築工事）請負契約の締結について、議案第10号 市有財産の取得について（成田市立下総中学校新設グラウンド整備事業用地）、議案第11号 市有財産の取得について（厨房機器（蒸気回転釜外））。その他、請願2件と陳情1件である。

委員：6月20日の北総教育事務所指導室訪問とはどのようなものか。

五十嵐教育指導課長：北総教育事務所には、管理課、庶務課等の他に学習指導を担当する指導室という部署があり、指導室は印旛管内の各学校を回って計画的に指導をしている。

その一つとして、中台中学校への指導室訪問があり指導をいただいた。この後、下総中学校も指導いただいた。

委員：市議会の中で、放射能について様々な質問があったようだが、具体的にはどのような内容だったのか。

関川教育総務部長：一番問題となったのは文部科学省が4月19日に発表した「福島県内の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な考え方の目安」とした1時間あたり3.8μシーベルトという値が、実は非常に危険な値ではないかということ。成田市でも年間1ミリシーベルト以内に収めるべきである。また、そこに少しでも近づけるよう努力をすべきではないかなど、市の考え方と対応について質問があった。

なぜ1ミリシーベルト以下でなければならないのか、20ミリシーベルトでは高すぎるのかという根拠があいまいなところがあるが、現在のところは文部科学省の基準に従ってやっていると回答した。但し、なるべく低いことが望ましいのは事実なので、今後も定期的な測定は行う。しかし、成田市内の数値は決して危険な状況ではない。それはこれまでの観測結果からも明らかであると説明させていただいた。

市内での測定結果については、後ほど、五十嵐教育指導課長から説明させていただく。

委員：昨年秋の運動会は大変な猛暑であったが、その反省もあって、今年は春に実施した学校も多かったのではないかと思われるが、今年春に実施した学校は何校あったか。

高山学務課長：もともと春に運動会をやっていた学校は加良部小学校と川上小学校で、今年から春に実施したのが、美郷台小学校、大須賀小学校、新山小学校、公津の杜小学校、桜田小学校の5校である。

### 3. 議 事

#### (1) 議 案

議長：本日の議案のうち、議案第1号は平成24年度使用教科用図書の選定だが、公開で審議することはさまざまな支障が出ることが予想される。また、議案第2号から議案第4号までは人事案件である。いずれも「成田市教育委員会会議規則第22条第1項」の規定に該当するので非公開で審議することとしたい。

(これより非公開とする。)

議案第1号 平成24年度使用教科用図書の選定について

《議決結果》

可 決

議案第2号 成田市学区審議会委員の委嘱について

《議決結果》

承認

議案第3号 学校体育施設管理指導員の委嘱について

《議決結果》

承認

議案第4号 成田市立図書館協議会委員の委嘱について

《議決結果》

承認

(非公開を終わる。)

議長：議案第5号 成田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて、並びに議案第6号 成田市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正するについては、両議案とも4月の教育委員会会議において一度可決した議案である。

大栄公民館のプラザホールに音響反射板を整備することに伴い使用料を定め、施設利用料の上限金額も変更するというものであった。しかし、その際に上限金額を変更するについては更なる検討を要するとの付帯条件を付けて可決した。その後、市当局との検討・協議を経て方針が定まり、改めて審議をするという事での提案となる。

両議案は関連があるので、一括して審議することとする。

議案第5号 成田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

議案第6号 成田市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正するについて

須藤公民館長 議案資料に基づき提案

(要旨)

平成23年4月の教育委員会会議において、条例及び規則の一部改正を提案した。

大栄公民館のプラザホールに市民から要望のあった音響反射板（8枚購入予定）を舞台設備として整備することに伴い、使用料の設定と設備を追加することに伴う舞台設備使用料の上限額を改めることについて審議いただいた。

審議結果として、音響反射板1枚の使用料は210円で承認をいただき、舞台設備全体を使用した場合の上限額8,240円を8,400円とすることについては、更なる検討を要するという事で可決いただいた。

このことに基づき市長部局と協議を行った結果、本条例と規則で定める使用料は旧成田市の施設と旧大栄町、旧下総町の施設について、合併時にそのまま引き継いでおり、文化会館的な施設がそのまま公民館として利用されているなど整合性がとれていない。使用時間設定の異なる公民館があるなどの問題があるため、使用料全体の見直しを含めて公民館としての統一を図ることが必要であるとの見解が示された。

そのため、本条例、規則で定める使用料全体の抜本の見直しに向けて検討をすすめることとする。

公民館として統一性と整合性を図った新たな使用料を定めるにあたり、結論を得るまでには相当の時間を要することから、今回の改正については、規則については附属設備としての音響反射板の使用料を定めるだけの改正とさせていただき、舞台設備使用料の上限額については、4月の議案で改正する以前の金額である8,240円に戻すこととする。

条例についても同様に4月の議案で改正する以前の金額である8,240円に戻すこととしたい。

#### 《議案第5号及び第6号に対する主な質疑》

委員：ただいまの説明にある統一性と整合性とはそれぞれどのような意味か。何を統一するのか、すべての公民館の使用料を統一するのか、あるいは整合性を図るとはどういうことなのか。

須藤公民館長：使用料の定めが時間単位となっているものと午前、午後、夜間という区分の設定のものなどがあるので統一を図りたい。あるいは成田公民館の市民ホールと大栄公民館のプラザホールには同じ備品があるにもかかわらず料金設定が異なっている。また、元々文化会館的な施設をそのまま公民館の設置・管理条例に入れ込んでしまったことなど、様々な問題がありますので整合性を図りたいと考えている。

坂本教育総務課長：そもそも合併時に目的・用途の異なる施設を一緒にすることになるので、行政改革推進計画の中で平成24年度に全体の見直しをすることとなっている。しかし、今年度整備する音響反射板については料金設定を認めていただかないと使用できないこととなるので、今回は音響反射板210円の使用料のみ追加する改正をし、全体の統一性・整合性については平成24年度の市全体見直しの中で協議していくということで理解いただきたい。

議長：議案第5号 成田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについてを原案どおり可決する。

議案第6号 成田市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正するについてを原案通り可決する。

#### (2) 報告事項

報告第1号 専決処分の報告について（工事請負契約の締結について（久住小学校校舎大規模改造・増築工事））

葛生学校施設課長 資料に基づき報告

（要旨）

「久住小学校校舎大規模改造・増築工事」については、6月3日に制限付き一般競争入札が執行され、島田建設（株）が4億2,651万2,121円で落札した。

本来ならば本日の教育委員会会議で審議いただき、その後、市長に議会での議決を求めるよ

う申し入れするところだが、6月10日開会の6月議会での議決を経ないと本年度中に工事が完成しないことから、教育長への事務委任規則第3条第1項の規定により、専決処分をさせていただいた。

久住小学校のこの工事は、統合による教室の不足と、加えて学区内の児童数が増加していることから、増築工事を実施するもの。

また、これに合わせて老朽化した既存校舎についても、教育内容の多様化に適合させるための大規模改造を実施し、教育環境の改善を図ろうとするもの。

工事の概要ですが、大規模改造ではコンクリートの躯体を残し、内装や外装、そして、屋根を全面改修すると共に、一部のアルミサッシを再利用するほかは、建具や家具を全面改修する。

増築工事では、鉄筋コンクリート構造、2階建て、延べ床面積1305.99平方メートル、普通教室5室と家庭科室、図書室、コンピューター室、多目的室などを増築する。これにより当面の児童数の増加に対応は出来るものと判断している。また、体育館についても屋根と外壁の防水工事等を併せて行う。工事の完成は来年の3月16日を予定している。

#### 《報告第1号に対する主な質疑》

委員：これは意見として聞いていただきたいが、設計をする場合には案の段階で現場の職員に設計図を見せ、不合理な点がないか等を検討していただきたい。

例えば、保健室が2階に配置されていて、緊急の場合にどうやって階下に下ろすのかとか、職員室が建物の裏側にあってグラウンド等が見えず子どもたちの管理がしにくいとか、理科室も準備室と教室をアコーデオンカーテンで仕切っていたり、あるいは薬品室に鍵が付いていなかったりなど、修正すべき点も多々出てくるので、細かいところでやはり現場の先生方との協議をしていただきたい。

また、どうしても子ども達は乱暴に扱うことが多いので、基本的に壊れることを前提の設計、つまり部品などはなるべく既製品を使って作っていただくほうが良いと思う。いざ修理が必要になった時に手に入りにくい部品を多用されていたりすると困ることになる。

葛生学校施設課長：6月議会での議決が得られれば、すぐに工事に入る。しかし、工事の前には基本設計を行ってから実施設計という段階を踏むが、基本設計の段階で現場の先生方の意見を伺う機会を設けている。今後も学校現場の意見は聞いてまいりたい。

関川教育総務部長：今回の公津の杜中学校もそうだが、当初の案と比べると陸上のトラックと野球場の位置を逆転させるという変更を行っている。これは、現場の先生方の意見を参考にした結果である。設計に当たっては一方的に決定するのではなく、なるべく現場の先生方の意見を取り入れるように努めている。

委員：久住小学校校舎で改造工事後の図面を見るとシャワー室が無いようだが、必要ないとの判断なのか。今回の大震災のように避難所としての利用があった場合などは、やはりシャワー室があったほうが良いのではないか。

葛生学校施設課長：校舎にはシャワー室は設けないこととしたが、避難所としての利用の場合には基本的には体育館を使う。体育館にはシャワー室があるので避難所としての対応は

可能と考えている。

## 報告第2号 成田市青少年問題協議会委員の委嘱について

藤崎生涯学習課長 資料に基づき報告

(要旨)

現委員の村嶋照等議員は成田市議会議員の任期が4月29日で満了となり、改めて5月27日に成田市議会より足立満智子議員の推薦があり、同日付けで市長が委嘱した。

任期は、成田市青少年問題協議会設置条例第4条第2項の規定により、前任者の残任期間となり平成24年7月15日までとなる。

## 報告第3号 第21回全国地芝居サミットin成田の概要について

藤崎生涯学習課長 資料に基づき報告

(要旨)

日時は平成23年11月5日(土)・6日(日)の2日間。

全国に広まる農村歌舞伎の復興と再生を目的として開催するもので、全国持ち回りで開催している。本年は成田市が開催地となり、東横INN成田空港ホテル及び成田国際文化会館を会場として「第21回全国地芝居サミットin成田」が開催されることとなったので、概要を報告する。

11月5日(土)は、東横INN成田空港ホテルにおいて、基調講演、シンポジウム・パネルディスカッションを予定。また、6日(日)には、取香の三番叟、伊能歌舞伎の上演の他、サミット宣言他に続き、13時30分から特別講演として「歌舞伎にぞっこん」という演題で元NHKアナウンサーで芸能評論家でもある山川静夫さんの講演を予定している。

## 報告第4号 中台運動公園球技場夜間照明建設工事の延期について

檜垣生涯スポーツ課長 口頭により報告

(要旨)

今年度当初予算に、運動公園施設整備工事として3億3千159万1千円の予算を計上した。これは中台運動公園の中に陸上競技場と体育館のほか人工芝の球技場があり、そこに照明をつける工事を行う予定であった。

しかし、3月11日の東日本大震災の影響を受け、電力不足等に対応するため、他の屋外運動施設についても照明設備を使用せず日没までの利用としていることから、当面は需要が見込めないため、工事を取りやめることとした。今後は需要が見込めるようになった時点で再度、予算計上し工事を行うこととなる。

予定された内容としては、一般単独事業ということで事業費として約2億4千800万円の運動施設整備事業債を予定した。

工事では設計委託料として830万円を計上し、7機の照明を設置しようとしたもの。また、



照明塔は地上18メートルで地下にも18メートルのものとなる。もともとの地盤が谷津田であったことから必要となるもので、結果として工事費もかかることとなり、1億130万円となった。

照明も200ルクスのものを設備するので、電気設備で9千700万円ほどを予定した。ちなみに大栄野球場は750ルクス、東京ドームは2,000ルクスである。照明に電源を供給するための設備としてキュービクルという変電施設の増設も必要となる。現在は体育館の事務所脇にあるが、それでは容量が不足するので新たに別の場所に増設を行うものであり1億2千万円を予定した。

合わせて工事費3億3159万1千円を減額補正したもの。

《報告第4号に対する主な質疑》

委員：需要が見込めるようになった時点で再度予算を計上するという事だが、今後の見込みとしてはいつごろの工事となるのか。

檜垣生涯スポーツ課長：当面は見通しが立っていないので、次年度以降ではないかと思う。

委員：工事の発注はまだだったのか。

檜垣生涯スポーツ課長：今年度予算ということで確保した直後に震災が起こったので、発注はしていない。その後、主な利用者であるサッカー協会からも、予算を有効に使うために震災対応など優先して使用すべき項目もあるであろうから、それらを優先してもらって結構だとの意見をいただき、今回は延期とさせていただいた。

起債も予定していたので、着手すると利息も毎年約200万円の支払いが生じることとなる。しかしながら、設備は完成しても稼動しないということでは資金の有効活用とならず、設備も経年劣化してしまうこととなる。従って、状況が回復し必要が生じたときに改めて予算を確保して工事することとした。

#### 4. その他

##### ・放射能測定結果について 五十嵐教育指導課長より報告

福島原子力発電所事故に係る放射能測定結果を5月の教育委員会会議で報告した。それ以後の土壌調査、空中線量、プール水の測定結果を報告する。

6月6日から8日にかけて土壌中の放射性物質の測定を行った。

今回の土壌中の放射性物質の測定で、市内すべての学校の校庭より放射性セシウムが検出された。福島原発の事故により、事故当時は放射性物質であるヨウ素とセシウムが成田市まで飛んできていたと推測される。しかし、半減期が短いヨウ素が今回6月の調査では不検出であったことから、現在はほとんど放射性物質が飛んできていないと推測される。

今回検出された放射性セシウムについては、半減期が約30年といわれているので、今後しばらくは同様の状況が続くものと考えられる。放射性セシウムで、野菜類、穀類などの基準値である500ベクレルを超えた学校は4校あった。東小学校、豊住小学校、小御門小学校、名木小学校で、最大は豊住小学校の775ベクレルだった。

その後、6月15日～16日に小中学校の空気中の放射線量の調査を行った。

2度目の放射線量の測定結果では、土壌中の放射性物質セシウムが500ベクレルを超えた学校は、豊住小学校を除くと特別高い値を示したわけではない。また、豊住小学校で放射線量が地表5センチメートルのところで0.31 $\mu$ シーベルト/h、50センチのところでも0.31 $\mu$ シーベルト/h、1メートルのところで0.36 $\mu$ シーベルト/hという数値を示している。放射性物質セシウムが500ベクレルを超えた東小学校、小御門小学校、名木小学校については大体0.2 $\mu$ シーベルト/hを超えたぐらいの数値であった。

放射性物質の影響を一番受けるであろう地上5cmの高さで一番高い値の0.32 $\mu$ シーベルト/hで考えてみると、現状の数値が1年間続いたと仮定しても、1年間の人工放射線量の累計で1508.5 $\mu$ シーベルト、つまり約1.51ミリシーベルトとなる。文部科学省では年間の被曝線量を1ミリシーベルト～20ミリシーベルトとして、できるだけ1ミリシーベルトに近づけるとしている。こうしたことから考えて、1.51ミリシーベルトは1ミリシーベルトに非常に近い値であるので、日常の学校生活を通常通り行って心配ない値であると考えている。そして、今後も放射線量の測定を実施して線量の変化を注意深く監視していくこととしている。

続いて、プール水中の放射性物質量の測定結果だが、6月22日に放射性物質の測定を実施した学校18校は、放射性ヨウ素、放射性セシウムのいずれも不検出だった。プール水中の放射性物質量の測定は、校庭での大気中の放射線量の測定値がそれほど高くないことや、安全性が確認された新しい水を使用しそれを毎日循環させ、ろ過して使用していること等からプールに水を注水した直後は問題ないと考えている。その後、空気中に飛散した放射性物質がプール水にたまることも考えて、注水して数日から十数日後にプール水質検査の項目に加えて含有放射性物質の測定を実施した。その結果はいずれも不検出だった。

プールに水を入れた直後の学校は数日経過後に採取して検査することとしているので、今回実施した以外の美郷台小を除く10校は6月28日に、注水日が7月になる美郷台小学校は7月15日に実施を予定している。

関川教育総務部長：現在までのところ、土壌検査を実施している自治体はまだ少ないが、土壌調査を行ったところでは、水はけが悪いとか、水がたまりやすいようなところでセシウムが高く出ているようだ。

成田市でも数箇所セシウムが500ベクレル以上出ているところもあり、そのようなところでは放射線量も0.2 $\mu$ シーベルト/hを上回っている。原発事故によって放射性物質が地表に降りたところは地面にたまっているであろうことが推測される。これらの数値が多いか少ないかは判断の分かれるところでもあるが、間違いなく影響はあると思われる。土壌調査によって数値の高いところは、若干でも放射線の数値も高くなっていて、やはり関連性はあると思われる。

そこで、保護者の方には、「放射線防護の対策を正しく理解するために」という日本学術会議会長の談話をお配りして、過度に心配する必要はないとお知らせをしている。

豊住小学校が比較的高い値を示したのは、水蒸気爆発直後の気候条件によって、当

時は利根川周辺にも放射性物質が風に乗ってやってきたということがあると思われる。放射線予測システム「SPEEDI（スピーディ）※」によれば、大体その予測はあたっていて、成田市周辺にもかなり来ているという様子が分かる。実際に測ってみても高めに出ているので影響は高かったものと思われる。

保護者からは測定値が1マイクロシーベルト以下でも校庭の土を取り除いて欲しいとの要求もあるが、確かに表面から5～10cmほどの土を除去してしまえば放射線量が下がるとは言われているが、その土をどのように処分するかという基準が示されていないので、学校においたままになってしまうのでは根本的な解決にはならないと思う。

現在のところは、学校にも通知し、安全ではあるが出来るだけ放射線被曝を避けるような方策をお願いしたいと通知しているところである。むやみに長い時間屋外にいないとか、地面に近いところで長い時間にわたって作業などをしないとか、外から帰ったらうがい・手洗いをする等の指導をして欲しいと通知しているところである。

#### 《放射線測定結果の報告に係る主な質疑》

委員：放射能の影響は広域的、面的な広がりを見せるものだと思われるので、ポイントポイントでそんなに異なるものかが疑問に感じるところである。

例えば滑河小学校と小御門小学校は距離的にはかなり近いのに73ベクレルと684ベクレルという大きな差があるということだが、測定値にこんなに差異が出るものなのか。

豊住小学校、小御門小学校などは高台にあって風通しもよく水も流れてしまう、逆に滑河小学校などは低い場所にあるので水が溜まりやすいと考えると、どうも検査結果と地形その他の条件とが合致していないように感じる。

それ故、この測定結果の数値そのものが信頼できるのか、継続的な測定が必要なのではないかと思う。名木小学校では684ベクレルだったのが、例えば次に図ったら100ベクレルだったというようなことがあるのではないかと、1回だけでは正確な値としてみる事が出来ないのではないかと思うがいかがか。

また、土壌の放射性物質セシウムに10倍もの差があれば、空中の放射線量ももっと大きな差になるのではないのか。

関川教育総務部長：学校によってかなり数値に違いがあるのは、例えば雨などは局地的に降ることもあるので、そのときに強く降っていた地域とほとんど降らなかった地域の違いによる差異なども考えられる。

そこで、放射線量は毎週調べることにしている。しかし、土壌については福島第一原発の影響がどの程度であったのかを知るために測ったものなので、セシウムの半減期の長さ等を考えると今後短期間での変化というものはあまり考えにくく、測定をするとしても相当の期間をおいての実施でよからうと考えている。

なお、この検査数値は信頼できる値であると考えているが、やはり地形的に水が集まりやすい場所、落ちてきた放射性物質を溜め込んでしまう場所は高くなる。あるいは風が吹き込んでくる場所や逆に遮るものがあって風が当たらない場所など地形的な

条件も大きく影響を与えていると言われてるので、当日の雨の状況など天候の条件にも影響されているのではないかと考えている。

土壌に関して言えば、表面を5センチほど削ったらかなり下がるということだが、今回の検査数値ではそういう作業をしなければならないほどの高い数値でもない。これがもっと高い数値となったら再度の土壌検査も考えなければならないと思う。当面は放射線の検査をしっかりとやって、変化に注目していくことが必要だと考えている。

佐藤教育長：市として7月末には新しい機械を購入できるので、放射線量の測定は定期的を実施していく予定である。3月の爆発以降では放射能が多量に放出されている状況にはないし、実際にヨウ素が不検出ということはその後の放出はないと考えられる。半減期の非常に長い放射性物質であるセシウムの場合は、短期間に何度も図っても結果に大差がないと思われる。放射線量の定期的な測定をやることで、値が徐々に下がるようなことはあっても大幅に上昇することは考えにくい。

仮に急激な変化があれば再度の土壌検査も必要になると思うので、当面は測定結果の推移を見守っていくことが重要だと考えている。

#### ※ 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム

(System for Prediction of Environmental Emergency Dose Information)。

原発事故が起きたときに、大気中に放出された放射性物質の濃度や汚染状況を迅速に計算、予測するシステムで、日本原子力研究所が開発し1986年から稼働している。

#### ・公民館祭りについて 須藤公民館長より報告

10月28日(金)～30日(日)に開催する。28日にはオープニングセレモニーもある。詳細は決まり次第報告する。

#### ・ふれあいコンサートについて 藤崎生涯学習課長より報告

来る6月30日(木)、市議会の閉会後の概ね3時頃から議場で開催を予定している。今回は王霄峰(ワン・シャオフォン)氏による“二胡”の独奏。7月は28日(木)に成田ハーモニカ友の会の演奏を計画している。

#### ・成田スカイシリーズについて 檜垣生涯スポーツ課長より報告

東日本大震災チャリティーゲーム「第4回成田スカイシリーズ イースタンリーグ公式戦 千葉ロッテマリーンズV s 埼玉西武ライオンズ」を7月28日(木) ナスパスタジアムで午後6時の試合開始予定。

## 5. 委員長閉会宣言